

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	日本事情	担当教員	一般科目 (人文) 教員	
学年学科	3 年 留学生	通 年	必修	1 単位
学習・教育目標	(C-1) 30% (A-1) 70%			
授業の目標と期待される効果： 日本の歴史・風土から、現代の最新事情まで、日本と日本人を取り巻く様々な問題や課題について、幅広い知見を獲得する。また、その理解を通じて日本語の運用能力を高める。 ・ 日本の歴史や文化についての基本的知識を身につける。 ・ 現代日本における様々な問題を理解する。 ・ 自分の出身国と日本の違いを、様々な角度から客観的に理解する。 ・ 日本語でのプレゼンテーション能力を身につける。		成績評価の方法： 前期：平常試験 100 点 + 定期試験 100 点 + 課題提出 (50 点 ~ 100 点以内) 後期：平常試験 100 点 + 定期試験 100 点 + 課題提出 (50 点 ~ 100 点以内) * 前期、後期を同じ重みとし、総得点率によって最終評価を行う。 達成度評価の基準： ・ 日本の歴史や文化の基本的知識 ・ 現代日本の様々な問題 ・ 出身国と日本の違い ・ 日本語でのプレゼンテーション能力 を測定する試験で 6 割以上できること。		
授業の進め方とアドバイス： 特定の教科書は指定せず、授業ごとに教材が提示される。幅広いテーマを扱うので、普段から日本語の新聞やニュースなどに接する機会を多くしておくこと。				
教科書および参考書： 私製プリント				
授業の概要と予定：前期				AL のレベル
第 1 回：日本の暮らし・社会①				
第 2 回：日本の暮らし・社会②				
第 3 回：日本の暮らし・社会③				
第 4 回：日本の自然・地理①				C
第 5 回：日本の自然・地理②				
第 6 回：日本の歴史・文化①				
第 7 回：日本の歴史・文化②				
第 8 回：前期中間試験				
第 9 回：世界の中の日本①				
第 10 回：世界の中の日本②				
第 11 回：世界の中の日本③				C
第 12 回：世界の中の日本④				
第 13 回：現代日本を取り巻く環境①				
第 14 回：現代日本を取り巻く環境②				
第 15 回：現代日本を取り巻く環境③				
期 末 試 験				
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)				

授業の概要と予定：後期	AL のレベル
第17回：日本の暮らし・社会④	
第18回：日本の暮らし・社会⑤	
第19回：日本の自然・地理③	
第20回：日本の自然・地理④	C
第21回：日本の歴史・文化③	
第22回：日本の歴史・文化④	
第23回：日本の歴史・文化⑤	
第24回：後期中間試験	
第25回：世界の中の日本④	
第26回：世界の中の日本⑤	
第27回：世界の中の日本⑥	C
第28回：変容する日本社会①	
第29回：変容する日本社会②	
第30回：変容する日本社会③	
第31回：変容する日本社会④	
期末試験	
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	日本の歴史や文化に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本の歴史や文化に関する問題を解くことができない。
②	現代日本の問題に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	現代日本の問題に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	現代日本の問題に関する問題を解くことができない。
③	出身国と日本の違いに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	出身国と日本の違いに関する問題をほぼ正確に行なうことができない。
④	日本語でのプレゼンに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	日本語でのプレゼンに関する問題をほぼ正確に行なうことができない。